

# 憧れの黒部源流域の山旅

(記録 SUEMITSU)

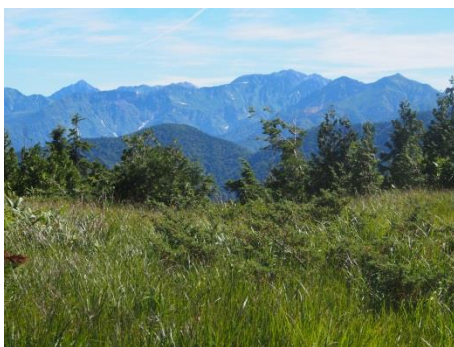
薬師岳・黒部五郎岳・鷲羽岳・水晶岳・雲の平

■日程：2018年7月29日(日)～8月2日(木)

■メンバー：8名(7月31日1名下山)

月日	工程	備考
7月 29日	先発隊5名 折立キャンプ場天幕泊 後発隊3名 富山市内ネットカフェ仮眠	前泊
7月 30日	折立登山口(S)6:50～三角点8:30～太郎平小屋(G)11:15 太郎平小屋(S)12:00～薬師岳14:00～太郎平小屋(G)16:00	薬師岳山頂 3名
7月 31日	太郎平小屋(S)4:50～北の俣岳山頂9:10～中俣乗り越10:50～ 黒部五郎岳山頂11:05-11:50～黒部五郎小屋(G)13:50	1名下山 以降7名
8月 1日	黒部五郎小屋(S)5:05～三俣蓮華岳分岐6:30～三俣山荘7:35～ 鷲羽岳山頂9:20～ワリモ乗越分岐10:50～水晶小屋11:40～ 水晶岳山頂12:40-12:50～水晶小屋13:35～ワリモ乗越分岐14:05～ 祖父岳山頂15:15～雲の平山荘(G)16:25	水晶岳山頂 4名
8月 2日	雲の平山荘(S)5:40～薬師沢小屋08:05-8:30 太郎平小屋11:45-12:20～三角点14:05～折立登山口(G)15:50	下山

## 7月30日(月) 快晴 折立から太郎平小屋 薬師岳



・6時50分先発隊と後発隊が合流し折立登山口へ、いよいよ憧れの黒部源流域へ山旅が始まる。私自身、約2年振りの本格的な縦走登山だったので少しの不安と大きな期待が入り混じった心境であった。

・登山口から三角点まで樹林帯、ブナや黒部の由来となった黒部杉(別

名ネズコ)が迎えてくれた。

- ・三角点手前で森林限界を超え視界が一気に広がり背中に有峰湖、前方には剣や立山連峰に薬師岳が望めた。「いよいよ来たんだ!!」途中の木道周辺には、小さな池塘?とニッコウキスゲや綿毛となったチングルマの群生。2度ほど途中のベンチで休憩しながら登り続けた。

- ・11時15分宿泊する太郎平小屋にようやく到着。小屋前には沢山のベンチがあり登山客で溢れていた。今年の夏は異常な猛暑で涼しい山でも紫



外線と暑さは体に堪えた。

- ・12時に3名が薬師岳へ登頂することになる。「私達は生ビールタイム！」
- ・16時に3名下山。「ご苦労様でした」

### 7月31日(火) 快晴 太郎平小屋～黒部五郎岳～黒部五郎小屋

- ・4時50分 少し予定を早めて小屋を出発。
- ・雲海の上、北アルプスに囲まれた稜線歩きはとても気持ち



良い。「まるで天国への道？」

- ・9時前 北ノ俣岳にはハクサンイチゲやニッコウキスゲの群生。



・昼前から稜線を中心に富山側は快晴であるが長野側がガスってきた。「綺麗に分かれていた」

- ・最後にザレた急登のジグザグ道を



頑張り黒部五郎岳山頂へ「憧れの山頂！！」山頂のパノラマは、槍穂、水晶、鷲羽、笠、白山、立山、剣等、北アルプスが全貌できた。



・山頂を満喫しカールの中を山小屋に向かう。黒部五郎のカールはとてもスケールが大きく圧倒された「青天井の大伽藍のど真ん中で思わず合掌！！」



- ・13時30分 黒部五郎小屋へ。「晩御飯は天ぷらと具沢山な味噌汁でお腹一杯」

### 8月1日(水) 快晴 黒部五郎小屋～鷲羽岳～水晶岳～雲の平山荘

- ・5時55分 小屋を出発、今日は今回の山旅のメインであり最も長いコース。「朝から気合入れて歩かないと」
- ・鷲が羽を広げたような雄大な山容、暴れ黒部川の最初の一滴の始まりへの道。
- ・9時20分 鷲羽岳山頂。山頂付近から眼下に鷲羽池（火口湖）が綺麗に見えた。



・ワレモ乗越分岐で水だけ持って水晶岳へピストン。



(水晶小屋まで2名、水晶岳まで4名)

・水晶岳への緩やかな登りの稜線を北アルプスに囲まれながら気持ち良く歩いた。

・途中、水晶小屋で小休止。足元の岩に水晶や石英が点在し

ていた。

- ・12時40分 山頂前は岩場となり鎖場と梯子場を越えて山頂へ。
- ・鷲羽岳や北アルプスの絶景を惜しみながら下山へ、途中黒部ダム湖が遠くに見えた。
- ・下山の稜線で、驚くことに小学生らしき二人連れと遭遇。「オッチャンどこからきたん？小屋には4時までに入ってや」後で解ったのだが、男の子は9歳で、三俣山荘と水晶岳山荘の経営者の長男であった。夏の間5か月は学校の許可を得て山小屋暮らし。「雲の平周辺が遊び場らしい」



・いよいよ最後の目的地、雲の平へ  
祖父岳を超えスイス庭園を過ぎる

と雲ノ平小屋が眼下に見えてきた、しかし、そこから迂回路でなかなか着かない。コバイケイソウの群生は盛りを過ぎていた。

- ・今年は、山も猛暑で池塘の水も多くが干上がっていた。
- ・16時半 雲の平山荘にやっと到着 晩御飯は鍋（鮭・ご

ぼう・芋他）とビール。

- ・食後の休憩中に促されて外に出てみると久々の★天の川★に思わずうっとり眺めていた。



## 8月2日(木) 快晴 雲の平山荘～薬師沢～太郎平～折立



- ・5時40分 ゆっくり下山開始
- ・途中、暑さに耐えかねて黒部川の源流で水遊び休憩と早めの昼食「ジャンボおにぎり」
- ・薬師沢への下りは、ゴロゴロ岩だらけで、脚と神経を使った。

・休憩後、太郎平に向けて最後の登り返し。標高が下がるとともに気温が上

昇したのか、とても暑い登り「私は、体温が上昇し過ぎたのか少しダウン、途中の沢の雪解け水で頭や首筋を冷やしなんとか太郎平小屋」

- ・太郎平小屋で長めの休憩をとり長いダラダラの下りを折立へ
- ・15時50分 全員、無事下山「バンザイ」

途中、メンバーに小さな怪我やトラブルはあったが、全員元気に下山できた。



経験の少ない私は、他のメンバーのサポートで、今回の過酷でとても素敵な山旅を終えることができました。「皆さん、ありがとうございました。また、宜しく願い致します」